




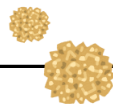





# 経尿道的尿管結石除去術（TUL）で入院された患者様へ

ID ( ) 氏名 ( ) さん

日付	/		
経過	入院日	手術日（術前）	手術日（術後）
目標	入院生活や手術について理解できる。 不安や心配が軽減される。	心身ともに安定した状態で手術が受けられる。	バイタルサインが安定している。 疼痛コントロールができる。
内服	いつも服用している薬をお預かりします。 薬を確認し、内服する薬について説明します。	医師の指示がある薬のみ内服していただきます。	
検査		朝からレントゲン撮影があります。	
処置		浣腸をします。  	尿管の違和感やお腹の痛みがある時、 または尿意が強い時は痛み止めをお渡しします。 
清潔		浣腸後、シャワー浴をしていただきます。 シャワーに入る時間は看護師からお声かけします。	
注射		シャワー後に点滴の針を入れます。	抗生剤を点滴します。
食事	夕食後から食べられません。	朝から絶食となります（飴なども×） 水分は（ ）時まで摂ることができますが、 お茶かお水のみ飲水可能です。	帰宅後3時間からお腹の音を確認し、 看護師付添いで水分を取ることができます。
安静	特に制限ありません。 		翌朝まで起き上がることはできません。 （寝返りはできます）
排泄	排石の確認をします。 排石があれば看護師にお知らせください。		手術後に尿管が入ります。 
説明 （その他）	手術についての説明をさせていただきます。 同意書の確認をします。 血栓予防のための弾性ストッキングのサイズを測ります。	弾性ストッキングを装着していただきます。	帰宅後モニターを装着します。

注1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注2 入院期間は現時点で予想される期間です。

# 経尿道的尿管結石除去術（TUL）で入院された患者様へ

ID ( ) 氏名 ( ) さん

日付	/ /	/ ~ /	/ /
経過	術後1日目	術後2日目～	退院日
目標	排尿が良好で排尿障害の自覚がない。	退院に向け不安なく過ごすことができる。	退院後の生活に不安がない。 緊急時の連絡を理解している。
内服	内服再開の指示がある薬をお返しします。		
検査			
処置			
清潔	午前中に体拭きを行います。 	主治医の許可があればシャワー可能です。	
注射		点滴終了後、針を抜きます。	
食事	朝食から食事を再開します。 		
安静	午前中、看護師付添いにて初回歩行します。		
排泄	医師の指示があれば、尿の管を抜きます。 その後は排尿を確認させていただきます。		
説明 (その他)	歩行が安定していれば、 弾性ストッキングを脱いでいただきます。		医師の許可があれば退院となります。 血尿が続く、あるいは急に尿の出が悪くなった等の 症状がありましたら、すぐに外来を受診して下さい。

注1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注2 入院期間は現時点で予想される期間です。